

美しい多摩川フォーラム 平成30年度・第2回運営委員会議事録

日 時：平成31年1月29日(火) 15:00～16:30

会 場：立川グランドホテル(JR立川駅北口)2階ソアーベ

出席者：会長 細野 助博 中央大学総合政策学部教授
副会長 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授
平岡 治房 青梅信用金庫理事長
委員 中西 宏 東京都建設局 西多摩建設事務所 管理課長
輪千 徳也 青梅市 都市整備部 計画保全課 計画調整係 係長
田中 昭二 あきる野市 都市整備部 管理課長
橋本 昌 羽村市 産業環境部長
辻 和己 大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課 計画調整係 係長
小澤 順一郎 青梅商工会議所会頭
大東 一裕 東京急行電鉄(株) 社長室サステナビリティ推進部 企画課 主査
山田 茂樹 森林総合研究所 多摩森林科学園園長
石上 恵 (公財)とうきゅう環境財団
渡邊 勇 青梅・多摩川水辺のフォーラム顧問
山崎 充哲 ふれあい移動水族館館長
加藤 太 (株)JT東京多摩支店営業第一課長
石川 貴 (株)近畿日本ツーリスト首都圏立川支店 支店長
梶田 隆弘 クラブツーリズム(株) 特別顧問
梶田 俊樹 富国生命保険(相)立川支社 市場開発グループ課長
浅見 芳雄 (特非)緑の大地会 理事長
滝井 寛 明星大学 事務局次長兼地域交流センター長
アドバイザー 藤野 強 (特非)青梅市カヌー協会会長
澤田 實 東京シティガイド
奥山 文弥 東京海洋大学客員教授

(敬称略、以下同様)

配布資料：(第1号議案)平成31年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)

(資料 1)多摩川流域魅力体験事業！「多摩川カヌー駅伝大会 2018&謎解き
ウォークラリー」(11/24)

(資料 2)第11回多摩川子ども環境シンポジウム(12/8)

(資料 3)東北・夢の桜街道推進協議会・東北復興支援シンポジウム(2/23)

1. 開会 (運営委員会成立の確認、資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成30年度第2回運営委員会を始めさ

させていただきます。本日の運営委員会は、出席委員、代理出席委員、書面議決書提出委員合せて53名で運営委員総数の過半数を超えておりますので、フォーラム規約第13条3項の規程により、本委員会が成立しておりますことをご報告いたします。

それでは「多摩川の歌」の普及策の一環として、皆様にもぜひ親しんでいただきたいということで、本日は歌詞朗読バージョンでお聞き下さい。

本日初めて運営委員会にご出席される方をご紹介します。

(東京都建設局 西多摩建設事務所 管理課長 中西 宏 様)

中西と申します。本日は所長の代理で参加しました。よろしくお願いいたします。

(あきる野市 都市整備部 管理課長 田中 昭二 様)

田中と申します。今日は市長の澤井の代理で出席しました。よろしくお願いいたします。

(株式会社近畿日本ツーリスト首都圏立川支店 支店長 石川 貴 様)

石川と申します。1月1日付で着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 細野会長挨拶

(細野会長)

皆さんこんにちは。平成30年度第2回目の運営委員会です。1月も終わりに近づいていますが、まだ隣の会議室では新年会をやっています。新年早々、大坂なおみ選手が全豪オープンで優勝し、日本は幸先の良いスタートを切りました。ただし、いのしし年というのは災害が多いですから、気を付けていかなければなりません。多摩川フォーラムも平成31年度を迎えようとしています。その前に、平成30年度を振り返って様々な懸案事項を整理していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。それでは、事務局に進行をお願いします。

3. 講話

(事務局)

本日は「平井川における外来植物の駆除」というテーマで、講師に東京都西多摩建設事務所工事第二課 工務担当 課長代理の廣瀬陽介様をお迎えし、お話をいただきます。フォーラム会員の皆様には、河川整備に関する現状認識や問題意識を高めていただけたら有り難いと存じます。

前方のスクリーンにパワーポイントの画像が映し出されますので、ご覧ください。

(東京都西多摩建設事務所 工事第二課 工務担当 課長代理 廣瀬 陽介 様)

皆さんこんにちは。廣瀬と申します。本日は、「平井川における外来植物の駆除」というテ

一マでお話をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

多摩川では、様々なイベントや自然を保護する活動等、色々なことが行われているということで、美しい多摩川フォーラムさんでも、環境を守る活動など、様々な取り組みが紹介されています。一方、私ども東京都西多摩建設事務所は、西多摩地区の道路事業や河川事業、砂防事業といった『都市基盤整備』を実施するとともに、その維持管理を行い、西多摩地域の安心・安全なまちづくりを担っている部署です。事業や工事を行うと、それまでであった自然環境を変えてしまいがちですが、今回は、平井川において我々が事前に市民の皆さんとお話したり、活動したりしながら、それまでであった平井川の環境や活動を守っていく事例をご紹介します。

1. 平井川の概要

平井川は、西多摩郡日の出町の「日の出山」東側山腹に源を發し、日の出町中心部付近より、草花丘陵と秋留台台地の間を東に流れ、あきる野市のJR五日市線鉄橋付近で多摩川に合流する、流路延長16.5kmの一級河川です。

平井川流域は、都市開発の進展により山林、農耕地が市街化されてきているものの、いまだ自然地が流域の6割を占め、1月の旧正月のころの休日になると、平井川のあちこちの河川敷で「どんど焼き」が地域ごとに盛んにおこなわれています。また、日の出町役場近くの『塩田堤の桜』は100本以上の桜が植えられており、綺麗な景観もごございます。また、6月のアユ解禁には多くの釣り人が訪れます。さらに、『子どもの水辺再発見プロジェクト』で『平井川こどもの水辺』が平成16年に登録され、子どもの水辺による生物調査等、様々なプログラムを子どもたちに提供し、水辺で賑わえる取組が行われ、子どもたちにとって、河川環境と身近に触れ合える貴重な体験や学習の場になっています。

平井川は、川が本来有する自然形態を良好に残している河川で、於奈淵堰の景観は、多摩川50景にも選定されています。千石橋より下流は日の出町の下流部に位置し、川幅が広がっています。南小宮橋であきる野市に入り、宅地が増え、草花公園や市民野球場などが川に隣接し、川と一体化して市民の方が利用できるような地域になっていて、川と地域の方が近いのが特徴です。

平井川は、東京都が管理する川の中では広い川になっています。川幅は約25mで、川の中には様々な動植物が生息し、植生が多様で、豊かな生態系が育まれています。高水敷には『ヨシ』や『オギ』等、イネ科の植物が多いことが特徴です。中流域にはツルヨシ、クサヨシ、下流域にはツルヨシ、オギが繁茂する場所が多く、そこに生息する動物も多いため、『平井川らしさ』を形づくっています。

しかし近年では外来植物の繁茂により、オギ・ヨシの群落が減少し、平井川らしい景観が失われようとしています。そこで、平井川本来の景観・動植物を取り戻すため、平井川流域連絡会の活動のひとつとして外来植物であるオオブタクサやハリエンジュ(ニセアカシア)の駆除活動を行うことになりました。平井川流域連絡会とは、東京都が事務局になり、地元自

治体や平井川を拠点として地域で活動している団体委員や、平井川に関心を持つ市民委員のみなさんとともに組織され、平井川に係るさまざまな課題の情報交換や河川整備手法について意見を交換したり、フィールドワークの活動などをしたりしています。

2. 駆除植物について

①オオブタクサ

北アメリカ原産の一年生草本で、カナダ、アメリカなどでは主要な農耕地雑草ですが、日本では主に空き地、線路沿い、河川敷などに多く見られ、夏から秋にかけて花粉症の原因となる植物です。『侵略的外来種』に指定されています。『侵略的外来種』とは、外来種の中で、地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を脅かす恐れのあるもののことを言い、環境省が作成した、侵略的な外来種を整理した『生態系被害防止外来種リスト』に掲載されています。また、「生態系被害のうち、競合又は改変の影響が大きく、かつ分布拡大・拡散の可能性の高いもの」として評価され、定着が確認され被害の深刻度が高いことから、『総合的に対策が必要な外来種』とされています。

②ハリエンジュ(ニセアカシア)

北アメリカ原産の落葉性の高木です。花期は4～6月で、芳香のある白色の花を房状に密生します。かつて緑化木として多く利用され、ハチミツの蜜源としても有用でしたが、河川敷や海岸林などで繁殖して純林を形成し、植生の単純化を招いています。伐採されても切り株や水平に伸びた根(水平根)から多数の萌芽を出して速やかに再生されます。明治6年に日本に導入されたといわれ、公園樹木や荒廃地の緑化樹として用いられてきました。また、根を張る勢いが早いことから、砂防工事後の植樹としても用いられてきました。オオブタクサ同様、侵略的な外来種に指定されています。『生態系被害防止外来種リスト』に掲載され、生態系被害のうち競合又は改変の影響が大きく、かつ分布拡大・拡散の可能性も高いもの、生物多様性の保全上重要な地域で問題になっている、又はその可能性が高いもの、また、産業又は公益的に重要で利用されているが代替性のないもの、『適切な管理が必要な産業上重要な外来種』とされています。

3. 駆除活動について

①オオブタクサの駆除活動

実施場所は、あきる野市菅生地内の平井川(瀬戸岡御堂橋上流)【延長 200m、幅 20m】の高水敷でおこないました。実施時期は5月と8月の年2回です。オオブタクサは在来植生中のカヤの中に混在しており、有用な植物として存在するカヤとともに刈り取りはできないため、機械による伐採はできません。そこで、5月には背丈50cmほどのオオブタクサを手で引き抜き、8月には、花が咲く前に背丈2mほどのオオブタクサを鋸鎌で刈り取りました。非常に暑い中での作業です。この作業は、平井川流域連絡会だけでなく、地元のあき

る野市が行っている、『オオブタクサ除去作戦』ともタイアップして実施しました。

結果として、平成26年ごろに駆除作業を始めたころは、オオブタクサが一面に繁茂し、オギの群落はありませんでしたが、平成30年はオギ原が復活しました。しかしこの翌年の春には、また、多くのオオブタクサが生えてきてしまい、なくなることはありません。継続的で地道な作業が必要になります。

こちらは環境省の「生物多様性地域戦略策定の手引き(改訂版)平成26年3月」に掲載されているものですが、カヤ原には日本で一番小さいネズミである『カヤネズミ』が生息し、東京都のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されています。この中で、『河川管理の担当部局と市民団体等が協力して、この小さな生き物に配慮した管理や河川改修が行われています。』と記述され、『生態系ネットワークと官民の連携』の例として、取り上げられています。

②ハリエンジュの駆除活動

実施場所は、あきる野市菅生地内の代田橋下流等、いくつか群落を形成しているところ、実施時期は花が咲く前の6月です。ハリエンジュは平井川のあちこちで群落を形成しています。平井川の川幅は比較的広いといっても、ハリエンジュが群落になることにより河川流下能力の低下を招きます。平井川流域連絡会のメンバーとともに活動の一つとして駆除をおこないました。ハリエンジュは専門の造園業者さんなどに依頼して伐採してもらうことも可能ですが、比較の木が大きくなく、市民活動として実施可能なため、市民がおこなえる方法として『巻き枯らし』という手法を取り入れました。『巻き枯らし』とは、ヒノキや杉の間伐作業でよく利用される方法で、樹皮をはぐなど樹幹内の養水分の通導を遮断して立木を枯らすことです。特別な機材を必要とせず、のこぎりやナイフを使って樹皮をはぎます。実施時期の6月は、花が咲く前で栄養分が根から木の上に集まっている時期になります。

こちらの写真はハリエンジュの群生状態で、こちらの写真は実際の駆除作業の様子です。皮を剥ぐにはかなりの力が必要で、皆さん頑張って作業していただきました。

こちらの写真は、巻き枯らしを実施して1年後、平成30年6月の状況です。樹皮を完全にはがし切れていなかったため、立派な樹皮が再生してしまいました。そのため、もう一度樹皮をはがす作業をおこなっております。

実施結果として、平成29年に29本を実施し、12本が枯れて17本が残りました。平成30年6月には残り17本の対策を実施しましたが、4本が残りました。春の芽吹きを見ても、効果を確認する予定です。なお、立ち枯れた木については、倒木の可能性があるため、造園業者に伐採を依頼しています。

以上で、オオブタクサとハリエンジュの駆除活動についての話を終わります。ご紹介した活動はとても地味な活動ですが、平井川らしい景観や環境を残すためには地道で継続的な作業が必要だと感じています。前段でお話しましたが、平井川では治水対策としての改

修工事を行っています。工事の『前・中・後』で様々な動植物に配慮しながら整備を行っていますが、工事を行うとどうしても環境が変わります。工事が終わると、そこでの環境が形成されていきます。そこで根付いた新しい環境をどのように維持していくのか、そこに『市民が関わる』という気持ちが醸成され、さらによい平井川になってほしいと思います。引き続き、『平井川らしい』川づくりについて、流域の市民の方々と考えていきたいと思います。ご清聴、有り難うございました。

(事務局)

有り難うございました。せっかくの機会ですので、ご質問のある方は挙手をお願いします。

(山崎運営委員)

オオブタクサもハリエンジュも、土が必要な植物だと思いますが、なぜ土を必要とする植物が平井川に生えるようになったのでしょうか。オギやヨシであれば、土が無くても川面に生えることができると思いますが、土が溜まる環境が河川内にできてしまったということでしょうか。それは河川改修とも関係してくるのでしょうか。いつぐらいからどういう風に増えてきたかの経緯を教えてください。

(廣瀬 様)

私の認識では、砂防工事の荒れ果てたところに植えてきたハリエンジュや、どこから飛んできたのか分からないオオブタクサが河原や線路脇に生えてきて、土とは関係なく、どこでも生えてくる植物だと勝手に思っていました。私は土木の人間で、植物に関して知識がないのですみません。しかし今のお話を伺うと、もしかすると河川改修をして川幅が広がり、日当たりが良くなったことが原因かもしれませんし、オギなどの植物の経年の堆積により、さまざまな植物が生える環境が整ってきてもあったりすることもあるかもしれません。

時期ははっきり分からないのですが、河川改修で川幅を広げた後でこういった植物が生えてきているということなので、近くの畑や田んぼから飛んできているのかなと思います。ちゃんとした答えになっていなくて申し訳ございません。

(山崎運営委員)

以前、私がアセスの調査を行った時、市役所裏の平井川に蛍が沢山飛んでいました。そういう平井川に戻ればとても嬉しいと思います。

(小澤運営委員)

外来種ではありませんが、クズが非常に多く見られるようになりました。青梅から御岳までモミジを観光資源としてアピールしているのですが、クズがモミジの木を覆っている状況が

見られます。これについて何か対策できないのでしょうか。

(廣瀬 様)

クズは日本に昔からある在来種ですが、やはりオギの上にもクズが乗っかってきてしまい、オギにとってもクズは敵になっています。先ほど「平井川のこどもの水辺」を紹介させていただきましたが、先日、クズの根っこ掘りという活動を行っていました。最近、クズの上に乗ってくるアレチウリというすごい植物もありますが、そういった植物も今後平井川で問題になってくるのではないかと思います。

(富国生命保険相互会社立川支社 市場開発グループ課長 梶田 俊樹 様)

質問というより感想になってしまいますが、外来種の問題を考える時、元々は我々の都合で導入した外来種の植物が、今度は駆除対象になってしまうということが、とても皮肉だなと思いました。

(事務局)

有り難うございました。お時間の関係で、終了とさせていただきます。なお、廣瀬様には会の最後までお付き合いいただきますので、どうしても質問があるという方は、会の終了後にお話いただきたいと思います。それでは、廣瀬様に今一度感謝の気持ちを込めて拍手をお願いします。

4. 経過報告

(事務局)

経過報告に入ります。前回の運営委員会以降の活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししておりますが、その中から特に(1)番の活動につきましてビデオにまとめておりますので、入口のスクリーンをご覧ください。

ービデオ放映ー

いかがでしたでしょうか。ドローン映像はやはり迫力があると感じました。このドローン撮影にあたっては、本日までご出席いただいています、青梅市カヌー協会の藤野会長に全面的にご協力をいただきました。藤野会長、突然で恐縮ですが、よろしければ一言お願いいたします。

(藤野アドバイザー)

毎年、このような形でカヌー駅伝大会を開催できることに関して、皆さまにお礼を申し上げます。この大会は、「多摩川」という地域資源を活用し、皆さんでもう一度水辺エリアをしつ

かり見守っていただければとやっております。ぜひ今後ともご協力をお願いいたします。有り難うございました。

(事務局)

有り難うございました。経過報告を続けます。

(2) 第11回多摩川子ども環境シンポジウム(12/8)【資料2】

- ・ 【資料2】をご覧ください。今年度は6組が参加し、パソコン、模造紙、歌、寸劇を用いた、多摩川に関する様々な発表がありました。当日は、昨年から設けたグランプリ、準グランプリに加え、審査員特別賞を表彰しました。ご参考までに、3枚目にアンケートを添付させていただきました。次回開催の参考にしたいと存じます。

(3) 第2回三部会合同部会(12/12)

- ・ 会議の詳細につきましては、議事録を美しい多摩川フォーラム公式ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

(5) 第6回「多摩川流域魅力体験事業2018」実行委員会に出席(1/18)

- ・ 1月18日に実行委員会が開催され、「多摩川カヌー駅伝大会&ウォークラリー」の開催日が本年11月23日(土)に決定しましたので、ご報告いたします。

～当面の予定～

(6) 東北・夢の桜街道推進協議会・東北復興支援シンポジウムに協力(2/23)【資料3】

- ・ 【資料3】をご覧ください。ちょうど2年前、平成29年3月11日に、東京ウィメンズプラザにおいて東北復興支援シンポジウムが開催されました。今回も、「津波そして桜」の短編映画を上映、そしてパネルディスカッションでは、コーディネーターとして細野会長がご登壇されます。参加費は無料です。主催は、東北・夢の桜街道推進協議会ですが、美しい多摩川フォーラムは構成員として、ご協力させていただく予定です。皆さん、ぜひ会場に足をお運びいただけたら幸いです。

(7) 100年プラン・パンフレット改訂版完成(2月下旬)【回覧】

- ・ ただいま回覧させていただきますので、ご覧ください。昨年度、フォーラムは10周年を迎え、このたび、約5年ぶりにデザイン等全面改訂する内容で進めております。100年プランそのものは変わっておりませんが、フォーラム会員の増加に繋がり、フォーラム活動に楽しいイメージが湧くよう、見せ方を工夫し、全体として明るく柔らかいトーンに仕上げました。現在最終調整中で、2月下旬の完成を目指します。

(8) 多摩川夢の桜街道～札所見直しに伴う「携帯マップ」改訂版完成(2月下旬)【回覧】

(9) 多摩川夢の桜街道～札所見直しに伴う「多摩川夢の桜街道」公式ホームページ・

リニューアルオープン(3月上旬)

- ・ (8)および(9)につきましては、「多摩川夢の桜街道」の札所見直しに伴う改訂となります。平成29年度に10周年記念事業として「札所の見直し」に着手し、今年度は春から夏にかけて大谷桜守にもご協力いただき、88ヵ所に足を運んで現地調査をおこない、秋にかけて新札所の選定を進め、最終的に9ヵ所の入れ替えにより、新札所を確定させ、今春の「携帯マップ」改訂、「多摩川夢の桜街道」公式ホームページ・リニューアルオープンを目指し、最終調整を進めているところです。マップ改訂につきましては未完成ですが、現段階のものを回覧させていただきますのでご覧くださいませ。また、「多摩川夢の桜街道」公式ホームページにつきましては、前方のスクリーンをご覧ください。簡単にご紹介させていただきますと、これがトップ画面になります。桜の開花情報につきましては、従来と比べて表示を大きくしております。また、新たにNEWSというスペースを設けました。なお、動画につきましては、10周年記念事業で制作した「ドローンを活用した多摩川空撮映像」を桜の映像にフォーカスして編集・制作中で、ここに埋め込む方向で準備を進めております。「流域全体」をクリックすると、ここに流域全体の桜マップが表示されます。さらに流域全体を4つのエリアに区分しており、「下流域エリア」をクリックすると、ここに下流域エリアの桜マップが表示されます。「札所名」をクリックすると、ここに写真2枚がスライドで交互に表示されます。写真の下欄には、札所の詳細な情報が表示されます。事務局からの経過報告は以上です。細野会長、よろしく願いいたします。

(細野会長)

有り難うございました。事務局からの経過報告で、ご質問などございますか。

(山崎運営委員)

現行の「多摩川夢の桜街道」サイトのアクセス数は累計で約6万となっておりますが、これに「本日のアクセス数」も載せてほしいと思っています。今回は280万円の予算でリニューアルするのですから、費用対効果がどれくらいあるのかを調べるためにも検討してください。また、運営委員の皆さんも、団体や個人のホームページに「多摩川夢の桜街道」サイトのリンクを貼ったら良いのではないかと思います。作って終わりでは意味がありません。このサイトを見て会員になりたいと思うようであればいいと思います。

(細野会長)

有り難うございました。確かにそうですね。少し検討してみてください。

(事務局)

アクセス数についてですが、業者と打ち合わせしている中では、最近のホームページではカウンターを設けないケースがほとんどだと聞いておりますが、貴重なご意見をいただきましたので検討させていただきます。私も他のサイトや金融機関等のサイトを確認したところ、カウンターの無いサイトがほとんどでした。この件についてはどのようにお考えでしょうか。

(山崎運営委員)

なぜ無くなったのか、あつてはいけないデメリットはなんなのかを精査してからでないといけません。あつたほうが良い、もしくは、あると困るという理由がきちんとあれば良いですが、一般的にないから自分も無くすというのは理由にならないと思います。ホームページがあれば、どれくらいアクセス数があるのか、会員や運営委員の皆さんは知りたいと思います。我々の会はアクセス数を知られて何も問題ないはずなので、カウンターはあつたほうが良いと思います。

(事務局)

有り難うございます。よく整理して検討させていただきます。

(渡邊運営委員)

「青梅・多摩川水辺のフォーラム」のサイトはカウンターを設けています。累計と当日アクセス数の両方を付けています。どうしても付けたくないのであれば、事務局だけでも見られるようにしたらどうでしょうか。私はどちらかでもあつたほうが良いと思います。

(奥山アドバイザー)

サイト・リニューアルに約280万円の予算ということですので、目標280万アクセスを目指したらどうでしょうか。つまり、プロに頼んでホームページを作ると、「私たちはこれだけすごいサイトを作ったの、すごいでしょ！」というふうになるのですが、先ほど山崎運営委員がおっしゃったように、見られてナンボなのです。ホームページを作ることより、見てもらう努力のほうが大変なのです。ですから、ホームページのグレードをアップするよりは、ホームページにいかにもアクセスしてくれて、なおかつ私たちの活動を世に知らしめられるかというような、会社で言えば営業努力をしたほうが良いのではないかと思います。商品作って「どうだ！」というのは、お金をかければ誰でもできます。お金をかける必要ないですから、みんなが興味を引くものを作ってもらいたいと思います。さっきの動画も、グレードがめちゃくちゃ高いと思いますし、プロに頼まなくてもあれだけのものが作れるのですから、今後もそのような形で進めていけば良いのではないのでしょうか。

(事務局)

ご意見をいただき、有り難うございます。事務局より2点説明させていただきます。まず280万円の支払いについては、すでに10周年記念事業として、2年前の運営委員会で事業予算として承認されています。事務局ではそれに則って進めております。

また、奥山アドバイザーの話は、先日、Google の部長よりお話をいただいた内容と同じで、「日本人は物を作ることにほとんどを投資して終わってしまうが、実は作ってからがスタートだ」とのことでした。「事業予算の3割で物を作り、6割を販促に、1割を検証に使う。それがグローバル基準であり、日本人はそこが弱点である」とのことでした。今後のフォーラムのあるべき姿とすると、作っておしまいではなく、まさにそういった観点が必要であると、改めて感じました。貴重なご意見をいただき、有り難うございました。

(細野会長)

私からもひとつあります。第11回多摩川子ども環境シンポジウムについて、いくつかのご意見をいただきました。賞の与え方について、また、参加する子どもたちのチーム数が少なくなっていることについてです。この件について皆さんのご意見をいただきたいので、まずは事務局から今回の審査方法について、簡単に説明してください。

(事務局)

はい、今回は6グループの発表がありました。そのグループ毎に、自分たち以外のグループで良かったと思うグループを2グループ選んでもらい、子どもたちが投票します。その集計結果を踏まえ、審査員であるフォーラム役員の皆様が決定します。結果として今回も1番票の多いグループをグランプリ、2番目に票の多いグループを準グランプリとしました。また、グランプリ、準グランプリ以外のグループを対象に、大人目線で審査員特別賞を表彰しました。

(細野会長)

有り難うございます。本当はご意見をいただきたいところですが、時間が押していますので、一度、関係者等で実行委員会を開催していただき、次回の運営委員会で発表していただければと思いますが、いかがでしょう(会場拍手)。ではそのような形でよろしくをお願いします。

5. 協議

(1) 第1号議案: 第1号議案の「平成31年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)」

(細野会長)

それでは、本日の協議事項に入ります。第1号議案の「平成31年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)」を事務局の方から説明してください。

(事務局)

【第1号議案】をご覧ください。まず収入の部ですが、会費収入は1,900,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、同じく青梅信用金庫様より「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴う寄付金として100,000円、委託金として青梅市様より250,000円を予定しており、前期繰越金3,833,910円と合わせて合計では14,083,939円となります。

一方、支出の部ですが、総会等運営費として3,480,000円、各種活動費として7,616,000円を計上しております。なお、10周年記念事業の一つとして実施している「多摩川夢の桜街道」の札所見直しに伴う「多摩川夢の桜街道」公式ホームページ改訂については、当初の計画どおり平成31年度予算に計上しております。また、平野副会長の全面的なご協力のもと、毎年4月に開催している「桜の語り会」は、ここ数年で桜の開花時期が早まっていることから平成31年3月に前倒しで開催する計画です。多摩川一斉水質調査・項目拡充とありますが、川の魚に有害とされる亜硝酸態窒素の調査を安定的に実施するため、計測器、試薬、備品を購入し実施する計画です。また、各事業報告としてビデオに纏めたビデオレター制作費につきましては、引き続き、撮影から編集まで完全内製化し、経費削減に努める計画です。この結果、次期繰越金見込額は2,987,939円となり、合計では、14,083,939円となります。

次ページは、平成31年度事業計画の主な実施内容になります。経済、環境、教育文化、総合軸に主な事業を区分しております。ご覧のとおり、継続事業が中心となります。補足説明をさせていただきますと、まず、経済軸の“美しき桜心の物語”の語り会は、八王子市様のご協力をいただき、高尾駅前の大光寺での開催を計画しております。多摩川酒蔵街道は、第6回目を迎え、毎年恒例となった「はとバスツアー」や「JRお座敷列車」が好評を博すなど、定着しつつありますが、さらにこの運動を活性化するため、新たな付加価値を検討しております。

環境軸の多摩川一斉水質調査につきましては、今年度、渡邊運営委員、山崎運営委員のご協力のもと、多摩川一斉水質調査全75地点の現況確認調査を実施、調査地点の見直しをおこないました。その結果を踏まえ、新たなスタートを切りたいと考えております。多摩川“水”大学講座につきましては、引き続き小倉副会長にお願いし、平成31年度は8年目となります。府中市様と共催する方向で計画を進めております。

教育文化軸では、参加者から評価の高かった、平野副会長とお弟子さんたちによる「多摩の物語」の語り会を実施できればと計画しております。

次ページをご覧ください。今年度の事業活動につきましては、ほぼ計画どおりに進めております。フォーラムは昨年度10周年を迎え、今年度につきましては、次の10年に向けてしっかりとした基盤を固めるべく、基盤の再構築に注力しました。具体的に申しますと、まず、多摩川夢の桜街道に関しては、先ほどの経過報告で触れさせていただきましたように、札所の見直しを実施しました。これに伴い、携帯マップ、そして「多摩川夢の桜

街道」公式ホームページの改訂作業を現在進めております。また、多摩川一斉水質調査につきましては、先ほどご報告させていただきましたように、全調査地点の見直し結果を踏まえ、今年度中に新たな調査地点を確定できるように準備を進めております。「フォーラム・御岳の森」につきましては、木柵老朽化のため改修工事をおこない、毎年人気の高い「炭焼き体験と水辺の交流会」が安全に実施できるように整備しました。

なお、多摩川夢の桜街道の札所見直しに関しては、携帯マップ改訂の内容を当初の想定より充実させたこと、また、「多摩川夢の桜街道～桜の札所」のリニューアルを記念してホームページに掲載するため、ドローンを活用した多摩川空撮映像を桜にフォーカスして編集・制作したことにより、当初の計画より上振れしております。

次ページは、平成30年度活動報告と今後の予定になります。後ほどゆっくりとご覧ください。

以上で、第1号議案の説明を終わります。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。

(山崎運営委員)

平成30年度の着地見直しについて、ビデオレター制作費が430,000円からゼロ円に完全内製化されています。素晴らしいと思います。しかし逆に、多摩川夢の桜街道の札所見直しで756,000円が1,323,000円に上振れしています。ドローンを飛ばすのが高いのか、ドローンって、それほど必要なのかなと思いますが。平成31年度の予算を見てみると、やはり金額が大きいのは多摩川夢の桜街道のHP改訂です。渡邊運営委員が顧問をしている「青梅・多摩川水辺のフォーラム」では、ホームページ制作費がゼロ円だそうです。写真が数千枚も載っています。さすがにアクセス数はそれほどありませんが。ここまで予算を組むのであれば、アクセス数を増やしたいところです。

(事務局)

ただいまのご意見に関しまして、事務局からご説明させていただきます。まず、ドローンを飛ばすのが高いのかというご意見ですが、今回ドローンは飛ばしておらず、10周年を記念して制作した多摩川の空撮映像から、桜の部分だけにフォーカスして編集制作しました。また、「多摩川夢の桜街道」は観光サイトということで、当初からホームページの制作を外部にお願いしておりますが、美しい多摩川フォーラムの公式ホームページについては、事務局の職員がゼロから制作したもので、制作費はかかっておりません。「多摩川夢の桜街道」については、インバウンドを含めた誘客という目的があり、八十八ヵ所の桜の写真や映像を綺麗に見せたいということで、外注した経緯があります。2,862,000円については、確かに私も最初は高いと思いましたが、2年前の運営委員

会でご承認をいただき、この2年間で八十八ヵ所すべての札所に足を運び、選定を踏まえての金額になっていることを補足させていただきたいと思います。

(山崎運営委員)

平成30年度分も含めると、「多摩川夢の桜街道」関連で400万円近くになるということですか。

(事務局)

そうではありません。本来、平成29年度あるいは30年度に支払うべきだったかもしれませんが、その分捻出する部分がなかったものですから、2年前の運営委員会で「平成31年度の予算で対応します」とご承認をいただき、それに則って、2年間をかけて計画的に準備を進めてきたところです。

(山崎運営委員)

平成30年度の1,323,000円は別のことですか？

(事務局)

平成30年度の1,323,000円は、携帯マップの制作費がほとんどです。ではなぜ756,000円がこれだけ上振れしたのかを具体的にご説明させていただきますと、当初は片面の仕様で考えておりましたが、全体が分かるマップがあったほうが良いという意見が寄せられ、両面にしました。そのため金額が上振れしております。先ほどご説明させていただいた動画編集制作費108,000円と合わせて、合計で1,323,000円となります。

(山崎運営委員)

そうすると、印刷部数5000部で割ると、一冊約240円になりますね。無料で配るには結構な値段です。会員の皆さんには配るのですか？

(事務局)

もちろんです。会員の皆さんにお配りすると同時に、桜のイベント等で配布し、できるだけ多くの方に携帯マップを持って八十八ヵ所を巡っていただきたいと考えております。

(細野会長)

有り難うございました。私からも一つ質問があります。先ほど、「多摩川酒蔵街道」の取り組みに、新たに付加価値を付けて活性化したいとのことでしたが、具体的にはどのようなことを検討しているのでしょうか。

(事務局)

はい、具体的には今秋、スタンプラリーを導入し、応募者の中から抽選で各蔵の銘酒や旅行券をプレゼントすること、また、スタンプラリーだけでなく、現地に行かれない方もクイズに応募して、応募された方の中から抽選で、5蔵で使用可能なお食事券や商品券をプレゼントすることなどを事務局で提案し、小澤運営委員にご調整いただいているところです。

(細野会長)

分かりました。では、小澤運営委員に少しご説明いただきましょうか。

(小澤運営委員)

東京都酒造組合西多摩支部の小澤です。私の考えとしては、西多摩を東京の酒処として多くの方に認識していただけるのは大変有り難いことだと思っております。お酒を沢山売りたいということよりも、いま注目されている「東京」というキーワードに乗じて、東京の酒処である「西多摩」を多くの方に認識していただきたいと思っております。興味を持ってもらうために、色々なことを事務局のほうで考えていただいているのですが、具体的にはスタンプラリーを実施しようと計画しています。今までは、「どうぞおいでください」というような企画でしたが、さらに一歩踏み込んで、皆さんに興味を持ってもらえる企画を考えたいと思います。実行に向けて進めてまいりたいと思います。

(細野会長)

有り難うございました。さあ、お時間も切迫してまいりました。第1号議案は平成31年度の事業計画骨子・同予算(事務方素案)ですが、色々と有益なご意見もいただきました。ご賛同いただけるようでしたら、拍手でご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。

なお、第1号議案は、あくまで事務方素案であり、最終的には、総会提出議案を審議する3月14日開催の第3回運営委員会にて、決定されますことをお含みおきください。

有り難うございました。以上で、協議事項が終了しました。

6. 意見交換

(1) 来年度以降の当フォーラムの取り組みについて

(事務局)

本日はお時間がないので、ぜひ事務局のほうに忌憚のないご意見をいただきたいと思います。来年度の計画は固まりつつありますので、来年度以降どうしていくかについてご意見をいただければ幸いです。2月には三部会合同部会を予定しておりますので、意見交換しながら、緩やかな合意形成が図れた内容については、今秋の運営委員会に上程させていただければと考えております。

(細野会長)

次回の運営委員会は、今後どういう方向性に持っていくのかについての議論に時間を割きましょう。

(2)その他

(細野会長)

その他、事務局からありますか。

(事務局)

11月の運営委員会や12月の三部会合同部会でも、美しい多摩川フォーラム「御岳の森」の活用について貴重なご意見をいただきました。事務局としては、運営委員の皆様のご会社や団体等でぜひご利用いただきたいと考えておりますが、寄せられたご意見を踏まえ、まずは実際に施設を見ていただき、今後の活用についてイメージを膨らませながら、会員相互間の交流を深める機会を設けることに致しました。実施の時期につきましては、4月20日土曜日を検討しております。詳細は、3月14日の運営委員会においてご案内させていただこうと計画しております。

それから、もう一点ご案内があります。フォーラム・アドバイザーの国土交通省京浜河川事務所様より、記者発表資料をお預かりしておりますので、後ほどゆっくりとご覧ください。

最後に、富国生命の梶田課長様、席上配布資料につきまして一言お願いします。

(富国生命保険(相)立川支社 市場開発グループ課長 梶田 俊樹 様)

皆様のお手元にハローキティのファイルをお配りしました。富国生命では、2月12日に、たましんRISURUホールにおいて、チャリティコンサートを開催します。1200名まで入場可能ですが、400名ほどしか確定していません。皆さまの中でクラシックに興味ありましたら、入場券とチラシをその方に渡していただくか、当日会場で「美しい多摩川フォーラムの紹介です」と言っていただければ入場可能ですので、ぜひお誘いあわせの上ご参加ください。

7. 総括・閉会

(細野会長)

それでは、平成30年度第2回運営委員会をお開きにします。有り難うございました。

以 上

(美しい多摩川フォーラム事務局)